

KGA

'99秋季号
1999年10月1日発行



目次

ゴルファーのためのマナー基礎講座(4)
欲望自然主義 1
特集・第50回「関東オープン」
平成11年度 第50回 関東オープンゴルフ選手権競技 3
平成11年度(第50回)関東オープン マンデーノーメント 12
終焉の辞 関東ゴルフ連盟 理事長 福田彰 14

ジュニア&リトルジュニア
見るだにおぞましい振る舞い 15
新規加盟俱楽部紹介 22
理事会・分科委員会 25
月例競技成績表 27
お知らせ 28

表紙photo 関東オープン 長野カントリークラブ(撮影・片山晴美/KGA広報委員)

 関東ゴルフ連盟

ゴルファーのためのマナー基礎講座

④ ゴルファーのためのマナー基礎講座

欲望自然主義

文・鷲巣 力(スポーツニッポン編集委員)
カット・山縣和彦

近頃、東京をはじめ大都会の盛り場がきたくなかった。電車のなかもきたくなかった。そう感じるのは私だけではあるまい。あたりかまわず発泡スチロールの弁当箱をあけて食事し、ゴミはポイと投げ捨てる。中身が残っているようがいまいが、清涼飲料水の缶も、置きたいときに置きたいところへ置く。ゴミは散らかり、飲料水は流れ出す。かくして道路や車内はベタベタする。最近では、他人の家の壇の上、玄関の前にでも平気で放置する。いったいだれが片付けると思っているのだろうか。

電車のなかでも、食事をする人、化粧をする人、電話をかける人が少なくない。その大半は若者である。彼らの言い分は、べつに他人に迷惑をかけるわけじゃないから、いいじゃないか、ということらしい。食べたいから食べる。化粧したいからする。電話がかかるから出る。我慢はしない。そんなこと本人の勝手でしょ、という。こんな光景を苦々しい思いで見つめている人も多いだろう。このような意識と行動が目立つようになったのは、それほど古いことではない。せいぜいここ10年ほどのことだろう。

◆「異星人」対「オジン」◆

今のように豊かではなく、われわれがまだ貧しい暮らしを営んでいたころ、人々の暮らしは、近隣の人たちとの持ちつ持たれつの関係の上に成り立っていた。おいしい食べ物を作ったからといってはおすそ分けをする。隣人が病気だといえば看病したり家事を手伝ったりした。赤子が生まれたといっては一緒になって喜び、老人が亡くなった

といつては一緒に悲しんだ。年頃の娘さんがいれば「いい話がある」と縁談を持ち込んだり、就職先だって縁故を探してくれたりしたものだ。煩わしいけれども助けられる。お互いが助け合わなければ暮らせなかったからだ。

こういう暮らしでは、地域社会のなかで隣人あるいは他人から「承認」を得る必要がある。「おたくの息子さんは礼儀正しいねえ」といわれれば親もうれしかった。浮世の規範は若者にも受け継がれる。そのかわり、隣人たちの意思に反すれば、

悪口の攻撃やシカト(無視)にさらされることにもなった。

ところが、暮らしが豊かになると、人々は相互依存に頼らなくともよくなった。よくいえば個人は自立し、お互いは干渉しあわない。悪くいえば関せず、カラスが鳴くのも勝手なら、ゴミを不法投棄するのも勝手である。もはや他人の「承認」を得る必要はない。隣人あるいは他人は、「風景」にすぎないので、他人が風景なら、そのなかで食事もできるし、化粧もできる。



こういう世の中に生まれ、物心がつき、育ってくれれば、他人の視線を意識し、気持ちを尊重するなんてことは、ないのが当たり前だ。年長者には若者が何を考えているのか分からない。そこで「異星人」と呼んで馬鹿にする。若者には、年長者は古臭くてセンスのない者として映る。だから「オジン」と呼んで嘲笑する。かくして「異星人」と「オジン」は、世代間戦争を戦うことになる。

◆筋金入りの「欲望自然主義者」◆

戦後の高度成長以後、快楽は美德、禁欲は悪徳、



欲しいものはすぐ手に入れると時代は叫んでいた。欲望充足は延期するなどいうのが、時代の「イデオロギー」だった。われわれはこのイデオロギーに鼓舞され続けた。その結果、「欲望自然主義」があまねく広がった。欲しいものはただちに手に入れ、欲望のおもむくままに生きる、という意識と行動が広がった。そうでなければ、経済需要は喚起されず、日本経済はここまで成長しなかったに違いない。

だが、大人にとって欲望は「美德」で、同じ時代を生きる若者にとって欲望は「悪徳」だという倫理は成り立たない。しかも、今の大人は人生の半分は欲望は悪徳、他人の目を気にする時代に生き、半分は欲望は美德、他人は風景の時代に生きている。一方、今の若者はまるっきり欲望バンザイ、他人は風景のごとくに映る時代に生まれ、物心がつき、育ってきた。欲望至上主義という点では、若者の方が筋金入りなのだ。欲望自然主義が若者に強く刻印されているのは当然である。

承認不要と欲望自然主義とが時代の主調となれば、人々が奏でる音楽は明らかだ。電車のなかの傍若無人のふるまいとなる。

◆「精神の貴族」対「無恥の大衆」◆

あと400日余りで終わろうとしている20世紀は、「大衆の時代」である。大衆が歴史の前面に躍り出て、歴史の主役となった。その大衆の台頭を苦々しく見つめていた一人の哲学者がいる。スペインのオルテガ・イ・ガセッタである。彼の名を広め

た著書『大衆の反逆』は、一九三〇年に大衆社会論の嚆矢として書かれた。諸権利を主張すること強く、自らに要求すること少ない「大衆」の出現と、それがもたらす危機を論じた。

その1章に「慢心しきったお坊ちゃんの時代」がある。「慢心しきったお坊ちゃんとは、自分の好き勝手なことをするために生まれてきた人間」を指す。彼らは「家の外でも家の内と同じようにふるまうことができると考えている」とオルテガはいう。最近の日本の若者のことを思い起こせばすぐに合点がいく。オルテガの貴族主義には辟易させられるが、その主張は的外れではない。

本当の貴族には、貴族としての行動、矜持、倫理がある。「貴族のスポーツ」であるゴルフのルールも貴族的である。たとえオジン臭くとも、ゴルファーには「精神の貴族」としての行動が求められることは先に述べた(No.67)。自分勝手にふるまうこととは対極にある行動だ。

ところが、今日のゴルフの隆盛は、大衆消費の時代だからこそ達成されたものである。大衆消費の時代とは「慢心しきったお坊っちゃん」が肩で風を切って歩く時代もある。「お坊っちゃん」たちが慣れ親しんでいるのは、大衆消費を支える快楽至上主義、欲望自然主義だ。

「精神の貴族」のスポーツたるゴルフを尊重するのか。「大衆に浸透したゴルフ」を尊重するのか。おそらく、その両方を同時に成り立たせようとする企ては、失敗するだろう。この2つは二律背反。いずれか一方を選択するしかない。

もし「精神の貴族」のスポーツとしてゴルフを選べば、自分の好き勝手な行動を断固としてつぶして行くしかないだろう。しかし、その方法は、日本人の戦後の欲望自然主義の生き方を否定することであり、それに挑戦することである。そうなればゴルフ人口は確実に減り、ゴルフ隆盛に水をさすに違いない。

だが、もしその努力を放棄するとき、「精神の貴族」は「無恥の大衆」に敗れ、いつの日か、「慢心しきったお坊っちゃん」たちに支配されることになる。そのとき、ゴルフは賭けマージャンと変わらないスポーツになるに違いない。

平成11年度(第50回) 関東オープンゴルフ選手権競技

- 開催日 平成11年9月2日(木)~9月5日(日)
- 開催コース 長野カントリークラブ
7,018ヤード パー72、72ホール、ストロークプレー

華やかな終焉

天(の時)地(の利)人(の和)、三つそろっての見事な大会であった。
総入場者数15,000人、最終日は5,600人の大ギャラリーが声援、歓声をあげた。
最終組のホールアウト14時25分、華やかに幕を閉じた。



文・宮元照夫(KGA広報副委員長) 山田和臣(KGA広報委員)
写真・石川博英・片山晴美(KGA広報委員)

祝
第50回
ゴルフ
選手権競技
飯綱高原観光協会
飯綱高原商店会

長野カントリークラブを中心に開催県のゴルフ関係者たちが、総力を挙げて取り組んだ。

1998年冬期オリンピックを、そのまま冬から夏へ移し替えたのではないか、と思うほど華やかなものであった。運営実施面においても、心にいくほど行き届いたものだった。

かつて白銀だった北アルプスの山並みは、遠くあるいは近く緑一色に覆われ、モーグルが宙に浮き、万国旗の旗波がゆらめき、ギャラリーの歓声とよめきに涌いた飯綱高原、この日は澄み切った青空と白樺や唐松に囲まれ、ジュータンのように美しく整備されたゴルフコースに変り、熱く燃えた4日間であった。

これまで約二十年間、関東オープンの取材を続けてきた筆者の心に、今までにない熱い感動を与えてくれた大会であった。

心にいくまでの設営とその運営は、地域密着型のこの記念大会での開催方式だからこそ実現できた。

オリンピックの賑いが再現された

その記念すべき大会の準備は二年間にわたって



UNHCR日本・韓国地域代表口チャナコロン氏(左)より感謝状を受ける小坂健介長野カントリークラブ理事長

なぜ継続できないのか

これほどの「関東オープン」をなぜ継続することができないのか。その想いは大会期間中、日に日に高まっていた。

関係者の考えは、二つの理由にしばられる。一つは出場者、とくにプロのそれが「日本オープン」の出場資格獲得のためにあることが、年々目立ってきたこと。二つ目は、約3,700万円(賞金3,000万円、大会経費700万円)の負担、つまり赤字が

年々重くなってきたこと、である。

では、なぜこのような状況になったか。事は1992年に、プロ協会が賞金5,000万円以上、全国規模の競技しか公式公認競技として認めない(賞金加算しない)、と決定したことによる。

それまでは、NHKのTV放映、スポンサー(キリンビール、横河電機)もついており、今大会のように華やかなものであった。この年より、マイナー化が進んだと言ってよからう。

しかし、KGA執行部は継続すべく、さまざまな工夫をこらした。例えば、チャリティートーナメントとして、UNHCRへの募金活動、全売上(前売券、入場料、プログラム広告料等)を開催倶楽部、開催県のものとする方式などを講じてきた。しかし、これとて彌縫策にとどまるを得なかつた。

名誉スターとして毎年特別参加してくれるプロの林由郎、小針春芳、石井朝夫の三氏も「PGAにも責任がある。極めて残念なことだ」と口を揃えて言う。

思えば現在のトップ・プロたちは勿論のこと、殆んどのプロゴルファーが、かつてはこのオープンを足場にして成長し育ったわけだ。彼らにとっ

て賞金は高ければ高い方に目標を置くのは当然で、理解できないわけではないが、オープン競技の本質を考えれば、プロ協会も年間のスケジュールを調整するなり、獲得賞金の扱い問題など幾らでも協調できることは決して不可能ではなかった筈である。

余りにも自己本位であったと言いたい。

欧米のトーナメントは年々賞金額は上昇しているが、日本はトーナメントの開催数も減少傾向にある。世の中が不況だから一時的現象だと楽観視する関係者の声を耳にするが、果たしてそれだけが原因であろうか。そうした意識の甘さがゴルフ離れにつながっていると思うのは間違っているだろうか。

つまり魅力がなくなっているではないか。見せるゴルフ、ファンを感動させる技術、スポンサーはギャラリーであるという原点をしっかり意識している欧米のプロに比べて、残念ながら日本はかなりの格差があることを認めざるを得ない。タイガーウッズやガルシアのような爆発的な人気スターの出現は日本では無理だとしても、小粒ながら日本流に見せるゴルフ、納得させるゴルファーが育たない。やがて宣伝の効果が薄れなければス

ポンサー離れは進み、冠のトーナメントも更に減少するだろうし、プロにとどても意識の改革を迫られる重大な時にかかっていると思う。

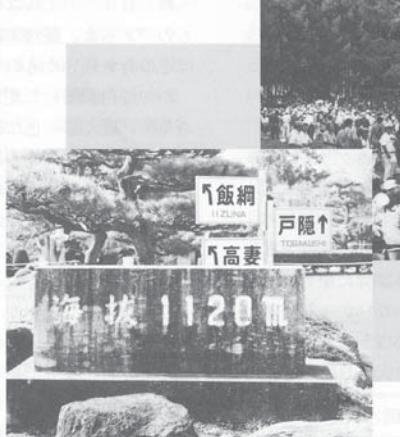
例え小粒であり、スター級の少ないオープン競技であったが、アマチュアの大健闘で大会は熱く燃えた。皮肉なことに同時期同日に開催していた日本プロゴルフマッチプレー選手権を上回った観客が長野に集ったという実績、魅力はプロのマッチプレーより関東オープンにより大きな興味と期待が集まつたことである。

わが国のゴルフ人口は、約2,000万人といわれている。関東オープンは戦後昭和25年に第一回が開催され、国民スポーツとしてその繁栄の基礎となってきた。50年の歳月中で充分その意義は果してきたことは事実である。

マンデートーナメントから勝ち上った茅野弘喜選手(諏訪湖・28歳)は、本戦で決勝ラウンドに進出できなかつたが、金井清一(ダイワ精工)、川岸良兼(ミズノ)両プロと戦い、アマとしての差を痛感し、技術的な面で大変勉強になったという。「ゴルフの底辺拡大のためにもオープン競技は是非あって欲しい」と言っていたが、ベテランの金井選手ほどになれば見せるゴルフを心得ているだけ



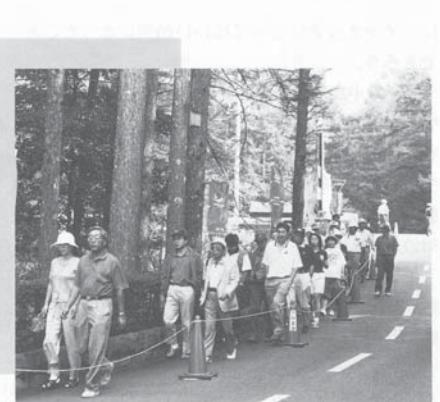
ギャラリー駐車場からコース入口まで4kmは祝のノボリ



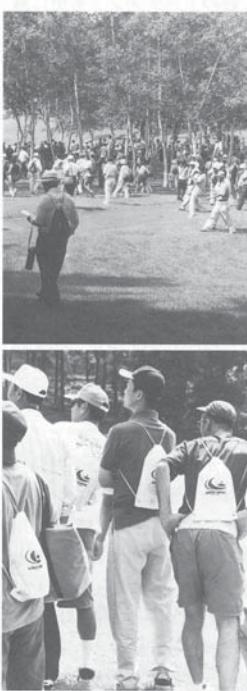
高原のさわやかさが試合を盛り立てた



晶廣の選手の豪打に見とれるファン



シャトルバスを待ち切れないギャラリーは、徒歩でコースへ



好天にめぐまれ、特製リュックを背負ってピクニック気分



全ホールでお目あての選手のショットを見るためにギャラリーは待つ



スタンドに座れないギャラリーは、両サイドのラフで選手を待つ

に、アマチュアにとってはいい勉強になったことであろう。

今年は中島ファミリー（中嶋常幸（ミズノ）、長男の雅生（セベ・バレステロス）、実弟篤志（東松苑）、従兄常美（東松苑））が出揃い、特に長男雅生選手が優勝争いに加わるなど、また岩本高志（日製産業）プロと弟、通（扶桑）選手のプロアマ兄弟の対決などめざらしく話題の多い大会であった。

地元でガソリンスタンドを経営する中井正明飯綱高原観光協会会長は「われわれは単なるゴルフ愛好家だけの楽しみというとらえ方はしていない。オリエンピックもそうであったように、これだけのイベントは社会に対する貢献度も非常に大きいものがある。競技大会が成功するか不成功かは、ゴ

ルフ場の経営サイドの考える枠を度外視して、地元や県民すべてが密着して総力を挙げて、前向きに対応することが必要だという認識の上で、ボランティア活動も拡大してやってきた。過去の大会運営の実体をつぶさに見聞きしてきたその結果、後向きにばかり考えているようではこのようなトーナメントは駄目になる、と考えた。そこには開催側樂部の信頼度、人から人への熱い支援態勢、長野カントリークラブはその意味では現場を中心多くの人たちの信頼と友情に育まれたゴルフ場だけに、本大会の開催コースとしては最高の選択だと思うし、盛況裡に終始することを期待していた」と、この大会にかけた地元の意気込みを披露してくれた。

特別表彰者(36回出場) 安田プロの弁

いずれにせよ1都10県で支える関東オープンは、50回を区切りとして一応ビリオドを打ったわけだが、大会が持つその精神が、今後どのような形で引き継がれるかは別として、後世に生かされると期待する声が非常に大きいということを特記しておきたい。

今大会で36回の出場を果した安田春雄（大徳興業）プロとアマチュアでは26回出場の阪田哲男選手（袖ヶ浦）が特別表彰された。ひと口で36回と言うが、大変な努力がなければ成しとげられるものではない。阪田選手同様、二人には心から敬意を表したい。

安田プロは『この大会では一度も優勝というタイトルは獲れなかった。しかし今回、思いがけなくこの表彰を受け、面映ゆいスピーチの機会を与えていただいたことは、優勝するということより嬉しい。プロとしての誇りを感じたし、この表彰は私の一生の宝物として大事にしてゆきたい』と挨拶、満場の拍手を浴びた。

プロのパイロットとして、ときにはジャンピングボードとして幾多のプロやアマがこの50年の歳月中で生れ育ち、そして棗立っていった。まさ

に日本のゴルフ界を支えてきたのがこの関東オープンであったと言っても決してそれは言い過ぎではないだろう。

中井KGA副理事長は「歴史的意義という点で見れば、その役割は終ったが、将来のゴルフ界の発展にどう目を向けるか、その重要な判断を必要とする時だと思っている。

社会の変化に応じて一時中断という考え方もあるが、財政的な面、規模、新しい意義づけなど、いろいろとこれから検討して行きたい。」

同尾閑副理事長も「数々の問題点がある。若い人のゴルフ離れ、少子化現象と将来の展望、トータル的にはゴルフ人口の減少は大きな悩みのひとつだが、併せて大会毎の赤字運営などを考慮すると、今後関東オープンに変るものが必要だとするならば、どういう形のものにするのか、連盟としても充分研究して行かねばならないだろう」と、次の世代への余韻を残した発言だった。

来年から日本オープンの予選会がこれまでの方式と違った方法で行われることになっている。

いずれにせよわが国で最大の規模と組織をもつスポーツ団体としてのKGAが、ナショナル・オープンをどのように構築するか、大きな宿題を背負ったことは事実である。



アマチュア最多出場の阪田哲男さん(26回)



プロ最多出場(36回)の特別表彰をうけた安田春雄選手

光ったアマチュアの健闘

さて競技の内容についてふれておこう。4日間を通して好天に恵まれた。気温も平均27度、2~3メートルの微風が高原を走り、ギャラリーにとっても終始爽やかに観戦できた日々だった。

「正確なショットにはアドバンテージがとれるよう」(新井安寿大会競技委員長)と、一打の落下地点のフェアウエイを両サイドから極端に狹めるなどで、コースのセッティングも見た目より難易度を高めていたように思う。グリーンの割り高は3.9ミリ、コンパクションは11.0、短いパットもその微妙なラインに苦しむ選手が多く、天を仰ぐ選手が目立ったのが印象的だった。

最終日はギャラリーがティーグラウンドからグリーン回りまで連なるというホールがコースのあちらこちらに見られ、時折り上がる歓声を耳にし



中島雅生君のしなやかなフォーム

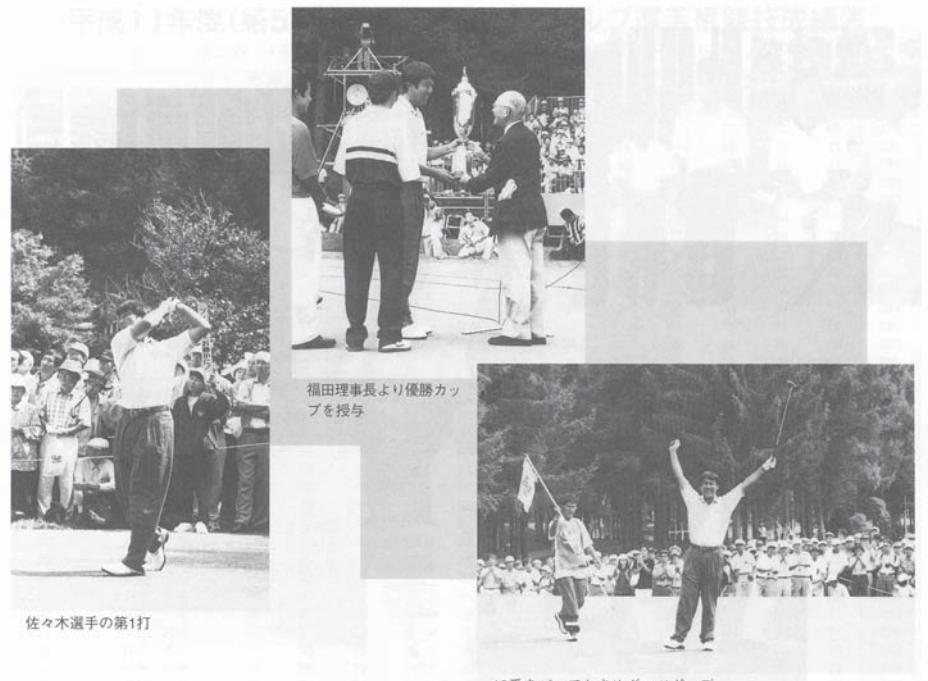
ベストアマ(総合2位)は中嶋常幸の長男雅生君(満19歳)

ながら自らの一球一打に精魂を込めて戦う姿、久し振りに選手たちもゴルフ冥利を深く味わいながら試合に臨めたことであろう。

3日目を終えて植田浩史(関西化工)プロの-7をトップに、-4まで12名(うちアマ1名)がひしめき合う乱戦が予想された。誰が優勝してもおかしくないわばドングリの背くらべではないが、熾烈な戦いをギャラリーは期待したに違いない。なかでもアマの中島雅生選手が、トップと1打差で2位につけているなど、いやが上にも球趣は盛り上がった雰囲気だった。

決勝進出62名中マンデーから6名、アマ5名とベテランの中嶋常幸、金井清一、安田春雄プロらが若手に挟まれての大健闘、何度もギャラリーを沸かせていた。

外国人では飛ばし屋の異名をもつフィジー出身のD.CHAND(サニー)プロが奮闘、初日、2日目



福田理事長より優勝カップを授与

佐々木選手の第1打

18番をバーでおさめガッツポーズ

の不調がたたって追い上げに苦労していたが、日本オープン出場資格をゲットできて何よりだったと思っている。

横田真一(西野グループ)プロと植田浩史プロは初日の崩れが大きく祟った、3日目は揃ってトップに立つ勢いだったが、最終日は一進一退のゴルフに終った。注目の金子柱憲(フリー)、井上信(袖ヶ浦)プロも結局は伸び切れなかった。

2日目やや崩れた佐々木久行(GMG八王子)プロだったが3日目と最終日にかけて順調に追い上げ、銳く追い詰めてきた芹澤信雄(サンエー)、中山徹(北浦)プロらの追撃を押えて逃げ切った。

佐々木は最終日出足の1番ティーショットをアイアンで刻んできた。殆どの選手がドライバーで飛距離を見せていたのに反して彼はアイアンを使った。出足から堅さを見せる内容に多くのギャラリーは唖然としたに違いない。しかもそれは左の

ラフに食われ、そこからの2打もショートしてグリーン手前のバンカーのアゴ下という不利な条件でのスタートホールだった。バンカーからはピンに寄らずアプローチミスが崩れる前兆を思わせたが、うまくパットを沈めてしのいだ。ゴルフにたら、ればは禁句だが、出足のバーセーブはその後7・8・9番の連続バーディーにつながり独走の態勢固めに入った。アメリカでの武者修行を積んで誰よりも勝つことを知っていた彼を、よりステディなゴルフへと歩ませた此日の内容だったが、1994年度に引き続き関東オープン2度目の優勝は見事であった。

今大会の目玉は何と言ってもアマチュアの大健闘であろう。中島雅生選手、さほど恵まれた体格とはいえない細身ながら、ショットといい飛距離といいプロに伍して正確かつ豪快さはギャラリーをうならせてくれた。



恒例となったジュニアゴルフクリニック、左上より林、小針、石井プロが熱心に指導

初日71で8位、2日目70で5位と上位をキープ、3日目はなんと69で回りトップと1差で2位、最終日もフロント9では一時トップに並び、初のアマチュアの優勝か、とスタンドは大騒ぎするほどだった。

少々のことでは驚かない強豪中山徹（北浦）プロも『いやあ、立派だよ、素晴らしい選手になるよ』と太鼓判を押していた。

結果最終日は3バーディ2ボギーの71、バック9に入り、ややアプローチの精彩を欠いて、パー一ツが精一杯のホールが続いたが、通算281で堂々2位タイに終った。

逃げる佐々木を追うアマの中島、この2人に注目された大会最終日となつたが、中島選手の追撃がこの日のすべてであった大会だっただけに、アマの健闘としては賞讃されてもよい関東オープンの一日だったと思う。

18番グリーンサイドに中島選手の両親がわが息子の健闘ぶりを見守っていたが、かつてこのオープンを勝った父親中嶋常幸プロがどんな気持ちで見ていたのか、父から子へ、そしてどんどんと若い人たちが育っていく勝負の世界、感慨深いものがあったに違いない。

願くば若い人の今流のファッションかも知れないが、表彰式くらいは帽子をとてギャラリーの声援に答えて欲しかったと思う。すればプレー以上にアマチュアとしての爽やかさが、もっと大きく印象づけられたのではないだろうか。

ともあれアマがプロに伍して4日間を戦い抜いた中島選手と村上史晃（関東ジュニア13位）の両君に心から拍手を送ろう。

そして日本オープンの出場権を得た上位24名の選手たちにもエールを送って、この稿を閉じたい。

平成11年度(第50回) 関東オープンゴルフ選手権競技成績表

参加者 147名（アマ44名・プロ103名） 決勝ラウンド出場62名

順位	選手名	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
		アウト	イン	計										
1	佐々木久行	34	34	68	39	36	75	33	34	67	33	35	68	278
2	*中島 雅生	34	37	71	35	35	70	35	34	69	36	35	71	281
2	横田 真一	36	37	73	33	35	68	33	36	69	37	34	71	281
4	芹澤 信雄	36	36	72	36	36	72	35	34	69	33	36	69	282
4	植田 浩史	36	37	73	35	34	69	34	33	67	37	36	73	282
6	中山 徹	37	34	71	34	36	70	35	35	70	34	38	72	283
6	福澤 義光	33	37	70	33	36	69	36	36	72	37	35	72	283
6	桑原 将一	35	35	70	35	35	70	36	36	72	34	37	71	283
9	倉本 泰信	34	39	73	35	37	72	34	35	69	38	32	70	284
9	室田 淳	35	37	72	39	34	73	37	32	69	35	35	70	284
9	藤田 寛之	37	35	72	36	35	71	37	33	70	34	37	71	284
12	D.CHAND	35	38	73	36	35	71	36	33	69	36	36	72	285
12	*村上 史晃	36	39	75	33	36	69	36	33	69	36	36	72	285
12	川岸 良典	38	36	74	34	38	72	35	36	71	32	36	68	285
12	福永 和宏	36	38	74	35	33	68	36	39	75	35	33	68	285
16	久保谷健一	35	38	73	38	35	73	35	33	68	37	35	72	286
16	丸山 大輔	35	40	75	36	36	72	35	35	70	34	35	69	286
16	井上 信	33	37	70	36	35	71	34	35	69	36	40	76	286
16	小林 正則	35	37	72	33	38	71	36	36	72	33	38	71	286
16	宮瀬 博文	36	35	71	35	35	70	37	34	71	36	38	74	286
16	金子 柱憲	36	38	74	36	35	71	34	33	67	35	39	74	286
22	真坂 蘭	39	35	74	36	35	71	35	36	71	36	35	71	287
22	牛山 正則	38	34	72	34	37	71	35	35	70	37	37	74	287
22	崎山 武志	38	38	76	34	37	71	36	35	71	34	35	69	287
22	原口 鉄也	36	36	72	35	34	69	35	36	71	36	39	75	287
22	金井 清一	35	36	71	37	35	72	36	33	69	36	39	75	287
27	#岩本 高志	34	37	71	33	36	69	39	37	76	36	36	72	288
27	江本 光	38	37	75	37	35	72	36	34	70	32	39	71	288
27	久保 誠美	36	37	73	37	37	74	36	34	70	33	38	71	288
30	福沢 孝秋	35	35	70	36	38	74	36	36	72	37	36	73	289
30	中鶴 常幸	37	35	72	32	36	68	37	38	75	39	35	74	289
30	牧野 裕	36	38	74	36	33	69	35	35	70	41	35	76	289
30	*中島 常実	36	35	71	37	37	74	34	39	73	35	36	71	289
30	海老原清治	37	34	71	36	37	73	35	38	73	37	35	72	289
30	高松 厚	36	35	71	35	35	70	35	37	72	36	40	76	289
36	横島 由一	37	36	73	36	37	73	36	36	72	35	37	72	290
36	乗竹 正和	38	37	75	34	35	69	34	40	74	35	37	72	290
36	#江達 忠	36	36	72	36	34	70	39	35	74	36	38	74	290
36	中村 直俊	36	40	76	37	33	70	36	34	70	34	40	74	290
40	芹沢 大介	37	36	73	36	34	70	40	39	79	35	34	69	291
40	初見 充宣	37	38	75	36	35	71	36	37	73	34	38	72	291
40	安田 春雄	37	34	71	39	37	76	33	39	72	33	39	72	291
40	#山添 昌良	37	37	74	36	37	73	34	34	68	37	39	76	291
44	北島 泰介	38	37	75	37	33	70	37	39	76	34	37	71	292
44	古木 謙二	35	33	68	40	34	74	34	38	72	40	38	78	292
46	富永 浩	36	35	71	38	37	75	36	35	71	38	38	76	293
46	秋葉 真一	34	36	70	38	37	75	36	37	73	36	39	75	293
46	池内 信治	37	38	75	36	36	72	34	38	72	37	37	74	293
46	#荒井 雅彦	36	35	71	35	38	73	35	39	74	38	37	75	293
46	堺谷 和将	35	36	71	34	38	72	39	33	72	40	38	78	293
46	五十嵐雄二	37	37	74	35	38	73	36	37	73	36	37	73	293
46	白浜 育男	39	37	76	36	34	70	36	37	73	36	38	74	293
53	葉 彰廷	38	36	74	36	36	72	36	37	73	37	38	75	294
53	#小泉 清一	38	37	75	36	35	71	37	37	74	38	36	74	294
55	金谷多一郎	38	35	73	35	36	71	36	37	73	38	40	78	295
56	*岩本 通	37	37	74	35	38	73	39	38	77	37	35	72	296
56	#山本 治人	34	37	71	38	37	75	37	36	73	36	41	77	296
56	斎藤 義勝	38	36	74	38	35	73	37	37	74	37	38	75	296
56	船野 明	36	36	72	37	38	75	37	37	74	36	39	75	296
60	比嘉 勉	38	37	75	34	38	72	39	39	78	35	37	72	297
61	*阪田 哲男	37	35	72	35	36	71	37	38	75	39	41	80	298
62	羽川 豊	37	37	74	37	36	73	36	39	75	37	41	78	300

*印はアマチュア；#印はマンデー通過選手

平成11年度(第50回) 関東オープン マンデーツーナメント

●開催日 平成11年8月30日(月)

●開催コース 長野カントリークラブ

7,018ヤード パー72、18ホール、ストロークプレー



8バーディ、ノーボギー 「とにかくすごかった」と優勝した 小泉清一プロ

文・井上 基 (KGA広報委員)

写真・舟橋一芳 (KGA広報委員)

関東オープンゴルフ選手権の出場権をかけたマンデーツーナメントが、8月30日(月)、長野市の長野ccで行われた。参加したのはプロ115名、アマ39名の合計154名。プロは上位25名、アマは上位4名のみが本選に出場できる。

プロの部でトップ通過をしたのは、小泉清一選手(ロイヤル)で、アウト31、イン33の64。8バーディー、ノーボギーという完璧な内容であった。「とにかくすごかった。ビックリした。半分は本選にとっておきたかった。」と興奮しながらホールアウトしてきた。ショットが絶好調でグリーンを外さない。「練習ラウンドでは難しいコースだなと思っていたんですが。出来過ぎですよ。何とか本選も頑張って日本オープンに出たいです。」とスコアカードを出したあと、冷たい水を飲みながら新た

なる次の目標を語っていた。それにしても、この狭いフェアウエイ、深いラフ、そして難しいグリーンで64というスコアは、さすがプロだ。生活のかかっているプロの爆発した時は、我々の予想しない、想像もできないゴルフをするのだ。

また、プロを教えるプロ江連忠選手(フリー)も樂々本選へ駒を進めた。練習不足で今一つ調子が悪いと言っていたが、飛んで曲がらない他の選手を圧倒するドライバーを武器に、軽く2アンダーの70で本選へと進んだ。ところでプロの部25位の最下位で通過したのが、丸山智弘選手(アライ)であった。パープレーの72に8名のプロがいて、カウントバックで2名のプロが落ちる。丸山選手は18番ホールで2メートルのバーディーパットを外し、72でホールアウトし、後続の選手のスコア次第となつた。「昨年来、調子が悪く、推薦以外試合に出られず、おまけに運も悪い。今日はその運が自分に向いているかどうかよい機会です。」とスコアカードを出したあと、冷たい水を飲みながら新た

一ト提出所付近でソワソワしていた。だが、結果的に最下位で本選への出場が決まると、すぐに「日本オープンをめざします。」とやっとめぐってきた絶好の機会に意欲満々であった。関東オープン本選の成績次第では日本オープンに出場できるから、今日予選をクリアしたいずれのプロも、その夢に向かって全力を尽くすであろう。

さて、アマの部は、県内予選より勝ち上がった39名の選手で争われ、高山源一選手(川中島)が、アウト39、イン34の1オーバー73であっさりとアマチュアトップ通過をした。このマンデーツーナメントは、1バーディーがアマ1名、プロ3名の組み合わせ。プロのショットを見て勉強しよう。」と無欲に臨んだのがよかった。アマには厳しいコンディションだ

ったが、得意のアプローチ、パットが冴えたり、前半はパー1回だったが10パットの寄せワンで耐え、後半2バーディー、ノーボギーと爆発したのだ。「今日は本当にツイっていました。」と高山選手は謙遜するが本選でもこの調子では非頑張ってほしい。2位で通過したのは、74ストロークで茅野弘喜選手(諏訪湖)である。ティーショットが曲がり7ボギーも叩いたが、5バーディーも取る荒れたゴルフで本選への出場権を獲得した。「プロと一緒に緊張感でプレーできたのが、良い結果につながった。」と笑顔を見せた。3位には、76ストロークで清水克海選手(穂高)、4位には、77ストロークのカウントバックで久保明広選手(長野県ゴルフ協会)がそれぞれ本選へと駒を進めた。

平成11年度(第50回) 関東オープンゴルフ選手権予選競技／順位表

アマチュアの部			プロの部					
ランク	スコア	氏 名	ランク	スコア	氏 名	ランク	スコア	氏 名
1	73	高山 源市	1	64	小泉 清一	36	74	阿久澤保弘
2	74	茅野 弘喜	2	69	山本 博人	36	74	松原 重樹
3	76	清水 克海	2	69	山本 治人	36	74	犀川 美善
4	77	田中 幸幸	2	69	吉原範比古	36	74	土田オサム
4	77	寺島 衛	2	69	村上 基	36	74	遠間 武彦
4	77	久保 久廣	6	70	山田 佳彦	36	74	関谷 伸行
4	77	片瀬 博幸	6	70	江連 忠	36	74	小野 精二
8	78	伊藤 謙二	6	70	島 正典	36	74	須藤 啓明
8	78	伊藤 啓二	6	70	高野 勇一	36	74	栗原 雅樹
8	78	松浦 三郎	6	70	伊田忠一郎	36	74	並木 一雄
11	79	井上 桂樹	11	71	I.DARMA	51	75	上原 泰典
11	79	北田 車士	11	71	萩原 安造	51	75	杉本 秀樹
11	79	吉沢 富男	11	71	山添 昌良	51	75	林 大作
14	80	田尻 寿啓	11	71	高橋 明俊	51	75	川俣 明
14	80	椎塚 敏光	11	71	加藤 俊明	51	75	神谷 英夫
14	80	江村 和幸	11	71	小島 昇	51	75	清水アキ彦
14	80	中村 仁士	11	71	小林 滋生	51	75	中根 初男
14	80	藤巻 駿夫	11	71	永田 浩一	51	75	飛田 覚
14	80	山口 一郎	11	71	八戸 太	51	75	溝潤 洋介
14	80	吉村 厚	20	72	菅谷 拓	51	75	南崎 次郎
14	80	湯澤 昭二	20	72	長谷川一雄	51	75	白山 英明
14	80	柏原 弘信	20	72	増田 伸洋	62	76	平林 孝一
23	81	原 康謙	20	72	荒井 雅彦	62	76	重原 発利
23	81	小山留次郎	20	72	眞野 佳晃	62	76	会田 信介
25	82	唐沢 謙一	20	72	丸山 智弘	62	76	加藤 弘文
25	82	日置 透	20	72	向後 聰一	62	76	松村 雄二
25	82	斎藤 彰彦	20	72	岩本 高志	62	76	鈴木 雄一
28	84	江本 日東	28	73	久古 千昭	62	76	福村 正治
28	84	小林 元	28	73	神山 隆志	62	76	中村 賀司
28	84	望月 一男	28	73	福村 正人	62	76	美浦 修
31	85	藤巻 好實	28	73	星 清	62	76	並木 俊明
31	85	一之瀬方賛	28	73	梶川 武	72	77	矢倉 博満
31	85	朝川 正男	28	73	中 庸行	72	77	横山 健士
31	85	湯原 正也	28	73	天内 一君	72	77	神谷 浩一
31	85	小林 徳衡	28	73	梅田 有人	72	77	船山 貴嗣
36	86	林 定司	36	74	平野 浩作	72	77	文山 義夫
37	87	北島 一郎	36	74	飯塚信太郎	72	77	横岡 充浩
38	88	野中 幸彦	36	74	森田 直樹	72	77	
39	90	村田 達也	36	74		72	77	

終焉の辞

関東ゴルフ連盟 理事長 福田 彰

主催者を代表して一言お礼のご挨拶をいたします。第50回関東オープンゴルフ選手権大会が無事成功裡に終了いたしました。当長野カントリークラブの小坂理事長様をはじめ、県のゴルフ関係のみなさまに厚くお礼申し上げます。

昨夕は、はげしい雨と雷でしたが、幸いプレーの時間帯をはずしてくれました。

皆様の精進のお陰と、善光寺様のご加護があったからかと存じます。

また、最後の関東オープンに優勝された佐々木久行プロ及びベストアマに輝いた中島雅生君に対し、心からの敬意を表すとともに1ヵ月後の日本オープンの活躍を期待いたします。

この関東オープンは50年間に亘って、ゴルファー、特にプロのバトロンとして毎年開催されてまいりました。そして、この関東オープンをジャンピングボードとして幾多のプロ、アマが輩出しております。中村寅吉プロの他、名脇スターとして本日も出席くださいました、林由郎、小針春芳、石井朝夫プロ、現役として活躍中の青木功、尾崎将司、丸山茂樹プロ、今回も出場の安田春雄プロ、また親子でがんばっている中嶋常幸プロ等日本のゴルフ界を支えてきた方々です。

同時に関東1都10県のゴルフ場を舞台に、ゴルフの地域振興に貢献して参りました。この歴史ある関東オープンも、残念ながら本年を最後にビリオドを打つ事となり、誠に残念、断腸の思いです。最後の関東オープンを何処にお願いするか協議の結果、ゴルフに関してきわめて前向きに協力いた



18番グリーン上でギャラリーにあいさつする福田理事長

だいてきた長野県の関係者に相談し、会場も県を代表する当長野カントリークラブに決定して頂きました。俱楽部関係者のご配慮によって、私は大会期間中長野カントリークラブの内外を隈なく歩き、実に見事に整備されている事に驚きました。

完璧に整備された会場を拝見し、関東オープン終焉の地が長野カントリークラブであったことを本当に良かったと思います。

長野カントリークラブの役員、理事、委員のみなさん、そして支配人をはじめ、現場の従業員の皆さん、また長野県の全ゴルフ場、ゴルフ関係団体、関係者の皆さん、スポンサーの方々ありがとうございました。

實に見事な大会でありました。

関東オープンは、今回をもって一応の幕を閉じますが、ゴルフという類いまれなスポーツは永遠であります。

そして、ここにお集まりの大勢のギャラリーの皆さん、皆さんこそ、これからゴルフ界のバトロンであります。

私たち関東ゴルフ連盟は、これからアマチュアゴルファーのためのボランティア団体として、眞の国民スポーツ、生涯スポーツとしてのゴルフ普及と発展のため努力してまいります。

皆様に、心からご協力をお願いして、私の挨拶の結びといたします。

ありがとうございました。

ジュニアゴルファーに限ったことではないが

見るだにおぞましい振る舞い

—ジュニア1999夏—

文・吉川英明 (KGA広報委員)

公式競技の開かれているゴルフ場に一步足を踏み入れると、普段の日とは違う一種独特な空気を肌で感じる。

スタートティングホールのティーグラウンドにテントが張られ、大会関係者や観客が行き交っているという情景のせいもあるだろうが、それよりもやはり、コース全体を覆う緊迫した空気そのものに、こちらの神経が敏感に感應してしまうのだ。

それは18ホールに充満した選手たちの“氣”だと私は思う。その場に集まった全選手が、全神経を集中して、コースと、そして己と戦っている……その巨大な“氣”が、大会会場に独特の静謐な緊迫感を漂わせていると思うのだ。

7月17日、関東ジュニア選手権Bブロックの予選が行われた日高カントリークラブは、確かにそう

した空気に覆われていた。

わざわざこんなことを書いたのは、去年のこの会場にはそれがなかったからである。去年、この予選を取材するため午前中コースに着いた私は、予選の会場にしては、コースの空気が拍子抜けするほど弛緩しているを感じて訝しく思ったことだった。

選手たちのプレーを見て回るうち、ティーショットを空振りするほどの初心者が数名いるのに気づいて、緊迫感の欠如に納得した。

私はそのことを批判する記事を書き、大方の賛同を得たが、いくつかのご批判も頂いた。

これからゴルフを覚えるジュニアだ。そんなに目くじら立てることもないだろう、というのがその論旨だった。

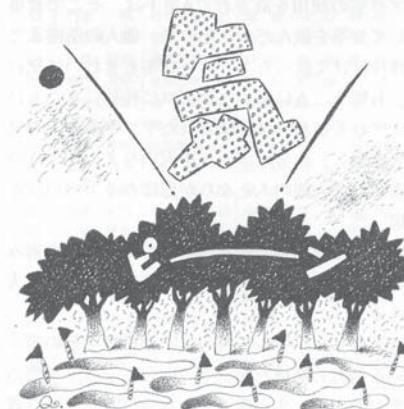
いろいろとお考えはあるが、私はあくまで反対である。苟しくも選手権と銘打った試合の予選にずぶの素人は出すべきではない。その日のために切磋琢磨してきた選手たち、そしてゴルフそのものへの冒涜だと思うのだ。

そして今年の予選、そうした初心者の出場が減った結果、予選会場らしい引き締まった雰囲気の中での試合となった。

スコアは、首位の73から最下位の125までと大分格差はあるが、同伴競技者のゴルフをスパイルしてしまうほど稚拙なショットは見当たらず、全員が真摯なプレーに終始した。ゴルフの競技とはかくあるべしという認識を新たにしたことだった。

関東ジュニアの決勝は、7月29、30の二日間、コースは武藏カントリークラブの笹井コースだった。

さすがに決勝ともなると、予選とは一味違ひ、





今年度チャンピオン 左より市原弘大君(15歳～17歳の部・埼玉高校2年) 中島徹君(12歳～14歳の部・甲府東中3年) 田上五海さん(15歳～17歳の部・堀越学園3年) 三塚優子さん(12歳～14歳の部・茨城大附属中3年)

平成11年度(第20回) 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

男子15歳～17歳の部

- 開催日 平成11年7月29日(木)~30日(金)
- 会場 武藏カントリークラブ・笹井コース
7,012ヤード・パー72 18ホールストロークプレー

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド		第2ラウンド		合計	
			アクト	イン	アクト	イン		
1	市原 弘大	埼玉高(2)	37	35	72	36	35	71
2	小池 智德	日体荏原(3)	37	40	77	32	37	69
3	平井 皇太	日体荏原(2)	35	36	71	38	39	77
4	落合 盛太	日大 高(3)	38	39	77	35	38	73
4	坂本 聰	埼玉栄(3)	38	37	75	38	37	75
4	金沢健太郎	水 城(3)	36	40	76	38	36	74
4	栗山 忠男	日体荏原(3)	39	35	74	38	38	76
8	佐野健太郎	児玉 高(2)	40	39	79	37	36	73
8	糸井 中	水 城(1)	37	42	79	37	36	73
8	尾野 仁啓	厚木 北(2)	40	39	79	37	36	73
8	木村 彩香	千葉大・高(3)	38	38	76	37	39	76
8	金光 善大	立 正(2)	35	37	72	40	40	80
13	クラーク太	佐野日大(1)	37	42	79	35	39	74
13	村上 真晃	水 城(3)	38	39	77	37	39	76
13	平塚 智幸	小瀬 高(2)	37	40	77	37	39	76
13	花岡 賢太	岡谷南高(3)	38	38	76	39	38	77
13	仲田 宽正	東海学園(3)	37	37	74	38	41	79
13	小原 淳	成城学園(1)	38	45	83	34	36	70
19	山本 祐希	東京学園(3)	38	41	79	33	42	75
19	鈴木 健児	水 城(3)	39	40	79	39	36	75
19	加藤 大幸	埼玉 栄(1)	37	39	76	41	37	78
19	西川 良	日体荏原(2)	36	38	74	42	38	80
19	門田 弥	日体荏原(3)	38	36	74	37	43	80
24	山田真一郎	稲 取(3)	39	41	80	37	38	75
24	川根 隆史	農大三高(3)	37	41	78	36	41	77
26	松村 道央	佐野日大(1)	41	39	80	39	37	76
26	久保公貴	埼玉 栄(1)	40	40	80	40	36	76
26	小林 勇介	埼玉 高(2)	40	41	81	36	39	75
26	小林 審宣	安田学園(3)	39	42	81	37	38	75
30	奥山 裕士	修 德(1)	37	42	79	41	37	78
30	鈴木 善裕	立 正(3)	38	37	75	41	41	82
32	遠藤 智樹	東海大・高(1)	42	37	79	40	39	79
32	浦郷 夏希	星 陵(2)	39	40	79	40	39	79
32	藤田 尚希	水 城(2)	42	37	79	38	41	79
32	佐久間雅規	水 城(3)	39	42	81	38	39	77
32	名倉 康太	星 陵(2)	41	41	82	38	38	76
37	岡田 豪太	慶應義塾(1)	41	39	80	40	39	79
37	白石 大祐	泉 (3)	38	40	78	43	38	81
37	鈴木 英児	水 城(1)	39	42	81	37	41	78
37	齐藤 大将	水 城(3)	41	41	82	40	37	77
41	椎川 波	千葉大・高(1)	42	37	79	39	42	81
41	築館 利明	千葉商業(1)	42	38	80	43	37	80

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アト イン	イチ	アト イン	イチ			
41	岩上 雄一	千葉大一高 (1)	41	40	81	44	35	79	160
41	林 美義	埼玉 栄 (1)	44	37	81	42	37	79	160
41	遠藤 明義	谷村工業 (3)	44	38	82	39	39	78	160
41	中田 成彦	竹ヶ路高等 (3)	43	41	84	37	39	76	160
47	渡邊 将光	幕大附属高 (1)	41	39	80	40	41	81	161
47	猿田 勝大	明大中野 (3)	39	42	81	38	42	80	161
47	篠原 裕明	東京学館高 (2)	38	40	78	40	43	83	161
47	小川 厚平	木々北 (2)	39	42	81	38	42	80	161
47	宇戸 充司	日大一高 (1)	40	42	82	41	38	79	161
47	江間 広起	横浜 高 (1)	40	43	83	39	39	78	161
47	宮崎 亮亮	厚木 北 (2)	44	39	83	37	41	78	161
54	吉住 彰康	日大一高 (1)	38	41	79	41	42	83	162
54	畑井 悠佑	日大 高 (2)	40	40	80	40	42	82	162
54	土橋 孝哉	星 陵 (3)	37	40	77	43	42	85	162
54	小野 英秋	佐野日大 (2)	41	40	81	40	41	81	162
58	瀬織 元氣	日体荏原 (2)	42	39	81	41	41	82	163
58	藤城 経真	立 正 (2)	41	41	82	39	42	81	163
58	岩本 孝志	横浜商大高 (3)	45	39	84	41	38	79	163
61	岡田 翼	水 城 (1)	39	41	80	44	40	84	164
61	額賀 崇徳	埼玉 栄 (1)	38	41	79	43	42	85	164
61	山本 泰弘	日大 高 (3)	40	42	82	47	35	82	164
61	加藤 友祐	京葉工業 (3)	45	39	84	41	39	80	164
65	須藤 彰宏	法政二高 (3)	38	44	82	42	41	83	165
65	李 英明	芝浦工大高 (3)	39	44	83	41	41	82	165
65	北村 正和	横浜 高 (2)	43	40	83	38	44	82	165
65	平井 宏昌	埼玉 栄 (1)	43	41	84	38	43	81	165
69	佐藤 真弘	日大一高 (3)	41	42	83	42	41	83	166
69	木本 利明	佐野日大 (3)	41	42	83	40	43	83	166
71	篠原 扇史	藤嶺藤沢 (2)	40	40	80	40	47	87	167
71	野田 忠正	日大 高 (2)	43	37	80	41	46	87	167
71	上迫 友貴	ホーリー (1)	39	42	81	41	45	86	167
71	西村 和也	多摩 高 (2)	46	38	84	43	40	83	167
75	中沢 勇二	横浜商大高 (2)	39	40	79	43	46	89	168
75	安木 隆介	厚木 北 (2)	40	42	82	41	45	86	168
75	山本 義行	日体荏原 (3)	39	45	84	45	39	84	168
78	室木 大吾	法政二高 (3)	43	41	84	43	44	87	171
78	西本 聖都	桐蔭学園 (2)	43	41	84	40	47	87	171
78	杉澤 敬也	水 城 (3)	40	44	84	44	43	87	171
78	森崎 崇	埼玉 高 (3)	41	43	84	43	44	87	171
82	佐藤 好是	暁 秀 (2)	40	44	84	45	43	88	172
82	高橋 悠	稻 取 (2)	44	40	84	46	42	88	172

どうしてこんなことが起こるのか

その他、霞では、女子の風呂場の脱衣所がめちゃくちゃな散らかり方だったというし、暗号式のロッカーの開け方が分からなくて、電子錠を壊して開けた女子選手もいたという。

つまり、ゴルファーとしてのマナーを云々する以前の、日常生活すらとともに営めない子供たちが少なくないということなのだ。誰が見ても、親が悪い、家庭の躓がなっていいと言うだろう。

こうした問題は、何もゴルフをする子供たちに限ったことではないのは知っている。電車の中や盛り場での子供たちの振る舞いは、見るだにおぞましい。

しかし、そんな末世的な状況の中でも、せめてゴルフをしようという子供たち、我が子にゴルフをさせようという親たちぐらいは、はじめのある社会生活というものをもっと大切に出来ないものだろうか。

そうでなければ、ジュニア育成などという言葉は単なるお題目に終わってしまう。そう考えるとまことに暗澹とした気持ちになってくるのだ。

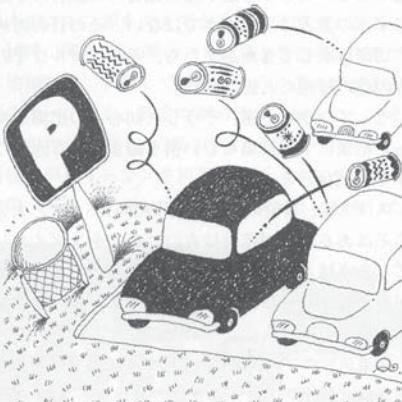
そんな時、あるジュニア委員から、いい話を聞かされた。

ある予選会場で、某高校のA選手が、プレー費節約のため弁当を持ってきたので、食堂以外の場所で昼食を取りたいと申し出た。

プロ室の使用を許されたA選手は、そこで食事をしてお茶を飲んだが、その後、他人の茶碗まで全部片付けて洗った上、テーブルもきれいに拭いて、有難うございましたとプロに挨拶にきたという。プロもきれいに整頓されたプロ室の様子を見て大感激し、自分のボールを沢山与えたというのである。ご両親の人となりが偲ばれる、いい話かと思った。

駐車場や風呂場の脱衣所を散らかしたまま省みない無法者とA選手……その間のギャップは重大である。

親子揃ってボールを打って、上位選手との差を縮める努力も結構だが、その間のギャップを埋める努力の方が、今、我々大人たちに課せられた義務なのではあるまいか。（カット・山縣和彦）



平成11年度(第20回)
関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

女子15歳~17歳の部

●開催日 平成11年7月30日(金)
●会場 武藏カントリークラブ・笹井コース
6,360ヤード・パー72 18ホールストロークプレー

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	田上 五海	堀 越(3)	35	39	74
2	鈴木 美麻	武藏野(3)	37	39	76
2	桜井 裕華	堀 玉栄(3)	39	37	76
4	浅川 弘子	鷗島越(3)	39	40	79
4	高橋 智子	堀 越(3)	39	40	79
4	下村真由美	堀 玉栄(2)	38	41	79
7	中村 英美	佐野日大(3)	40	40	80
7	三田 華苗	佐野日大(1)	39	41	80
7	木下 歩美	泉(3)	39	41	80
7	飯島 茜	新島学園(1)	42	38	80
11	大河内桃子	東大附属高(1)	40	41	81
11	大堀 貴子	水 城(3)	40	41	81
11	塩田美樹子	港南台高(2)	39	42	81
14	鈴木みり子	日大三島(1)	42	40	82
14	五十嵐々絵	JGAジュニア	43	39	82
14	増島 忍	駒場学園(3)	38	44	82
14	新井明日香	太田女子高(1)	44	38	82
18	飯塚 千恵	武藏野(2)	42	42	84
18	林 愛子	佐倉東高(3)	44	40	84
20	徳村 彩	厚木北(2)	43	43	86
20	青木 純子	東金女子(2)	44	42	86
20	山本 真美	堀 越(3)	42	44	86
23	藤平 雪	作新学園(3)	47	47	94

男子12歳~14歳の部

●開催日 平成11年7月30日(金)
●会場 武藏カントリークラブ・笹井コース
6,664ヤード・パー72 18ホールストロークプレー

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	中島 徹	甲府東中(3)	38	34	72
2	斎藤 麗	石 和 中(2)	35	38	73
3	岡田 卓麻	千葉日大一中(1)	37	37	74
4	池田 勇太	葛 城 中(2)	37	39	76
5	大沼 孝祐	ザウスゴー(7)	39	38	77
6	篠原 貴史	湘 洋 中(2)	40	38	78
6	勝又 崇之	御殿場南中(3)	41	37	78
6	山岸慎太郎	慶應義塾(2)	39	39	78
9	頼所 卓	松戸四中(2)	37	42	79
10	羽生 淳一	千葉日大一中(3)	41	39	80
11	斎藤 主将	湖 西 中(2)	40	41	81
11	広沢 望	大 島 中(3)	38	43	81
11	丸山 聖	北部中(3)	39	42	81
14	早乙女剛史	佐野北中(3)	43	39	82
14	木下 裕太	千城台南中(1)	43	39	82
14	塙田 陽亮	新島学園(2)	42	40	82
17	中村 亮太	吉 田 中(3)	41	44	85
17	渡邊 優登	日大一中(1)	40	45	85
17	高橋祐太郎	春 里 中(3)	43	42	85
20	真田 雅彦	立川四中(1)	45	41	86
20	石田 翼	岡 部 中(2)	44	42	86
22	佐藤 達也	八街北中(3)	47	41	88
22	阿部 清彦	芦 花 中(3)	45	43	88
24	芳賀 洋平	鎌ヶ谷三中(2)	44	51	95
(欠場)	丸山 真直	田 富 中(3)			—

女子12歳~14歳の部

●開催日 平成11年7月30日(金)
●会場 武藏カントリークラブ・笹井コース
6,360ヤード・パー72 18ホールストロークプレー

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	三塚 優子	茨城大附属中(3)	40	38	78
2	安田このみ	女子聖学院中(2)	38	41	79
3	杉山 加奈	下館西中(3)	44	39	83
4	後藤 路子	城 山 中(2)	40	44	84
5	笠折 瑞実	常盤 中(3)	45	40	85
5	本部 智美	東洋学園中(1)	41	44	85
7	津島さやか	鹿 島 中(2)	45	43	88
7	横須賀直美	桜 丘 中(2)	48	40	88

平成11年度

第5回 リトルジュニアゴルフ大会成績表



今年度入賞者 左から、肥田佳大、日向萬志、鬼沢友秀君、米田眞澄、吉田弓美子、小橋絵利子、高橋美帆さん

男子の部

●開催日 平成11年8月10日(火)
●会場 若洲ゴルフリンクス 5,044ヤード パー72

ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
1	鬼沢 友秀	府 中 第 七 小 (6)	68
2	日原 篤志	梅 田 小 (6)	71
3	肥田 佳大	江 東 区 立 第 五 順 小 (6)	73
4	神小柴拓也	大 宮 市 立 宗 小 (6)	74
5	池亀 翔吾	世 田 谷 区 立 烏 山 小 (6)	75
6	石井 啓太	巣 岡 小 (6)	77
7	羽方 雄基	谷 和 横 田 小 (5)	78
8	大溝 崇真	四 街 道 市 立 今 国 小 (5)	79
8	狩野 祐也	千 葦 市 立 金 沢 小 (6)	79
8	高橋 良輔	大 市 立 春 岡 小 (5)	79
8	大田和桂介	港 区 立 芝 浦 小 (5)	79
12	劉 英俊	四 谷 第 四 小 (6)	80
12	服部 大輔	藤 代 町 立 高 須 小 (5)	80
14	村田 成大	佐 倉 市 立 今 野 小 (6)	81
14	袖山 哲朗	浜 滋 市 立 船 越 小 (5)	81
16	神 翔太	東 村 山 市 立 青 葉 小 (4)	82
16	園田 嶽輔	大 森 第 四 小 (4)	82
16	大森 亮太	甲 府 市 立 山 城 小 (6)	82
19	石田 翔	岡 部 市 立 岡 部 小 (6)	83
19	森澤 茂光	港 区 立 麻 布 小 (6)	83
19	藤原 翔史	豊 島 区 立 大 成 小 (5)	83
22	相良祐輝郎	港 区 立 赤 板 小 (6)	84
23	狩野 純平	千 葦 市 立 金 沢 小 (4)	85
23	高木 翔太	千 葦 市 立 今 岩 東 小 (6)	85
23	坂上 大介	松 田 町 立 寄 小 (5)	85
26	山田 純也	市 立 日 野 第 五 小 (4)	86
26	高野 弓弦	学 芸 大 学 小 (6)	86
28	伊藤 勇気	橋 海 小 (6)	87
29	中竹 俊温	山 武 町 立 隆 岡 小 (5)	88
30	坂上 亮介	中央 区 立 佃 島 小 (5)	90
30	加藤 三四郎	板 横 町 立 梅 木 小 (5)	90
32	佐藤 秀憲	鎌 倉 市 立 棚 木 小 (2)	91
32	岡田 脊 麻	千 葦 市 立 松 小 (4)	91
32	子 母 口 小	千 葦 市 立 松 小 (5)	91
32	大 山 電 矢	真 肴 町 立 真 肴 小 (6)	91
32	鶴川 駿	王 川 学 園 小 (5)	91
37	吉田 研人	千 寿 本 町 小 (5)	92
38	黄金井健太	王 川 学 園 小 (5)	93
39	宇佐美祐樹	成 城 学 国 初 (5)	94
40	内野 敬民	富士見市立今谷小(4)	95
41	鶴谷 竜一	新宿区立落合第二小(5)	96
41	武内伸太郎	横浜市立崎山小(6)	96
41	小野 雄輝	大 戸 小 (6)	96
44	北山 祐	武藏村山市立第十小(5)	98
44	中村 優太	吉 田 西 小 (5)	98
46	有川 拓朗	浜 松 市 立 浅 間 小 (6)	99
46	川口 翔平	晚 星 小 (6)	99
46	坂上 隆郎	中央 区 立 佃 島 小 (6)	99
49	浅山 哲哉	習志野市立大森小(6)	100
49	山田 優	聖ヨゼフ学園小(5)	100
51	野村 昌広	学習院初等科(5)	104
51	野田 早人	王 川 学 園 小 (4)	104
53	大木 一祥	さつきが丘 小 (6)	106
54	松本 直 謙	高崎市立浜尻小(4)	107
55	林 宏樹	市川市立富貴島小(5)	108
56	曾原 慎也	平 沼 小 (6)	109
56	小袋 秀人	横浜市立上野新田小(2)	109
58	伊山 祐介	藤 沢 市 立 中 里 小 (5)	110
58	伊山 祐介	大田区立德持小(2)	110

女子の部

●開催日 平成11年8月10日(火)
●会場 若洲ゴルフリンクス 5,044ヤード パー72

ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
1	小橋絵利子	練馬区立北町小 (5)	77
2	吉田弓美子	相模原市立田名小(6)	83
2	米田 真澄	相模原市立黒川涌小 (6)	84
3	高橋 美帆	市立上巻分小 (6)	84
3	佐藤 香織	横浜市立日下小 (6)	91
5	碧 月 小 (5)	92	
6	南雲 貴葉	市 立 市 原 小 (5)	94
7	清宮 緑	市 立 市 原 小 (5)	94
8	青藤 愛璃	取 手 市 立 南毛利 小 (4)	95
8	杉山 美帆	市 立 東 所 沢 小 (5)	95
10	植田希実子	川口市立芝西小 (6)	97
11	稲葉 瞳子	番 町 小 (6)	98
12	丸山 美奈	田 富 北 小 (6)	100
12	西村 友希	区 立 泰 名 小 (5)	101
13	石黒 南	静岡大附属浜松小 (6)	102
14	阿部 悠	加茂市立加茂第一小 (4)	102
14	杉山沙羅沙	市 立 井 の 頭 小 (4)	102
17	岡田 琴子	藤 カ ナ オ ナ カ ル フ (5)	104
18	齊藤 恵	上 尾 市 立 東 小 (6)	107
19	鎌田 博美	清明学園初等部	110
19	山下ゆりえ	世 田 谷 区 立 松 小 (4)	110
21	森島麻衣子	沼津市立第一小 (6)	111
22	和田 美鈴	東 京 留 学 院 小 (5)	112
23	鎌田 真美	清明学園初等部	115
23	湯浅 舞姫	千葉市立院内小 (2)	115
25	永瀬舞香里	小田原市立菅野小 (4)	119
26	清宮 恵	市 立 市 原 小 (2)	124
26	鈴木 美帆	慶應義塾幼稚舎 (4)	124
28	三山 美穂	武 蔵 野 東 小 (5)	127
29	上林 静香	藤 沢 市 立 中 里 小 (2)	128
30	小松 麻衣	上林 静香 (4)	145
30	西村 幸子	玉 川 学 園 小 (6)	145
32	那須 愛	藤 代 町 立 久 賀 小 (2)	160
(失格)	新井 麻衣	袖ヶ浦市立霞波小 (5)	—
(失格)	宅間 祥子	東 柴 又 小 (4)	—

平成11年度 関東ジュニアゴルフ選手権予選競技

()内数字は平成10年度実績

男子15歳～17歳の部		エントリー	出場人數	欠場	予選通過人數	予選通過スコア	メダリスト	KGA委員 クラブ委員 高橋謙		
茨城(西)	Aブロック	74 (76,-2)	71	3	16位タイ21名	+4 76ストローク (+5 77ストローク) (-3 69ストローク)	-2 70ストローク 高山 之賀(水城2)	8名 10名 8名		
日高(東・西)	Bブロック	73 (73,±0)	73	0	14位タイ17名	+10 82ストローク (+10 82ストローク) (+2 74ストローク)	+1 73ストローク 小林 勇介(埼玉高2)	14名 6名 9名		
富士	Cブロック	96 (77,+19)	93	3	21位タイ25名	+13 85ストローク (+14 86ストローク) (+4 76ストローク)	-1 71ストローク 山田真一郎(稻取高3)	6名 8名 6名		
程ヶ谷	Dブロック	121 (115,+6)	117	4	27位タイ31名	+11 83ストローク (+15 87ストローク) (+5 77ストローク)	-1 71ストローク 宮崎 亮他(厚木北高2)	12名 0名 11名		
千葉	Eブロック	107 (72,+35)	106	1	19位タイ24名	+7 79ストローク (+10 82ストローク) (-1 71ストローク)	±0.72ストローク 吉住 彰康(日大一高1)	8名 9名 4名		
合 計		471 (501,-30)	406	11	118名	◆シード選手18名 エントリー数合計 489名				
女子15歳～17歳・12歳～14歳の部		90 (85,+5)	88	2	16位タイ20名	+9 81ストローク (+13 85ストローク) (+4 76ストローク)	+2 74ストローク 新井明日香(大田好子高1)	5名 14名 3名		
鎌ヶ谷 (東・中)	15歳～17歳									
12歳～14歳		33 (32,+1)	33	0	4位タイ8名	+12 84ストローク (+12 84ストローク) (+6 78ストローク)	+5 77ストローク 三塚 優子(誠徳高3)			
合 計		123 (117,+6)	121	2	28名	◆シード選手(15～17)3名 エントリー数合計 93名 ◆シード選手(12～14)候補者なし エントリー数合計 33名				
男子12歳～14歳の部		107 (119,-12)	104	3	21位タイ24名	+10 82ストローク (+9 81ストローク)	±0.72ストローク 斎藤 麗(石和中2)	6名 12名 0名		
藤ヶ谷										
予選総合計		701 (737,-36)	685	16	170名	◆シード選手22名(男子15歳～17歳の部18名、女子15歳～17歳の部3名、男子12歳～14歳の部1名)を含めたエントリー数総合計 723名 (754,±31)				
						◆シード選手を含んだ決勝競技進出人數 192名 (192,±0)				

平成11年度 第5回 リトルジュニアゴルフ大会実績表

開 催 日		申 込 人 数	出 場 者 数
H7	8/27(火)	53名	50名(男子37名 女子13名)
H8	8/27(火)	57名	57名(男子44名 女子13名)
H9	8/26(火)	71名	66名(男子48名 女子18名)
H10	8/25(火)	91名	86名(男子59名 女子27名)
H11	8/10(火)	114名	107名(男子73名 女子34名)

平成10年度 平成11年度 KGA夏季ジュニア・ゴルフスクール実績表

開 催 日		俱 樂 部	ホ ー ル 数	定 員	申し込み	欠 席	出 場 者	委 員	男 子 プ ロ	女 子 プ ロ			
1	H10 7月27日(月)	廣之台	18H	150	119	11	108	8	13	3			
	H11 7月26日(月)				98	7	91	7	8	2			
		前年度比		-21			-17						
2	H10 8月11日(火)	若洲	18H	150	156	15	141	10	16	3			
	H11 7月27日(火)				147	25	122	10	12	3			
		前年度比		-9			-19						
3	H10 8月 4日(火)	東京国際	18H	150	135	7	128	12	13	3			
	H11 7月27日(火)				73	12	61	5	8	1			
		前年度比		-62			-67						
4	H10 7月31日(金)	グラン 丸子	18H	50	12	1	11	0	2	0			
	H11 7月30日(金)				19	4	15	1	3	0			
		前年度比		+7			+4						
5	H10 8月 3日(月)	筑波	18H	150	58	12	46	5	7	3			
	H11 8月 2日(月)				72	10	62	5	5	1			
		前年度比		+14			+16						
6	H10 7月31日(金)	袖ヶ浦 袖ヶ浦	18H	150	92	12	80	8	12	3			
	H11 8月 6日(金)				105	20	85	6	7	2			
		前年度比		+13			+5						
7	H10 8月10日(月)	我孫子	18H	150	160	27	133	8	16	3			
	H11 8月 9日(月)				145	25	120	11	11	2			
		前年度比		-15			-13						
8	H10 8月17日(月)	唐沢 三好	18H	150	親37 子37	親3 子4	親33 子34	9	6	3			
	H11 8月17日(火)				親24 子24	親1 子1	親23 子23	6	5	1			
		前年度比		-13組			-10組						
9	H10 8月11日(火)	東京	18H	150	66	4	62	9	12	3			
	H11 8月20日(金)				92	17	76	8	6	3			
		前年度比		-26			-13						
10	H10 8月17日(月)	ノーザン 鎌ヶ浦	9H	150	111	7	104	6	12	3			
	H11 8月23日(月)				0(返金)	0	0	0	0	0			
		前年度比		-111			-104			冠水のため中止			
11	H10 8月24日(月)	桜ヶ丘	18H	150	119	25	94	9	11	3			
	H11 8月23日(月)				134	34	100	13	10	2			
		前年度比		-15			-6						
12	H10 8月24日(月)	浅見	18H	100	親28 子28	0	親28 子28	6	13	3			
	H11 8月30日(月)				親28 子28	0	親28 子28	4	6	1			
		前年度比		0			0						
13	H10 8月31日(月)	相模	18H	150	0(返金)	0	0	0	0	0			
	H11 8月30日(月)				165	25	140	12	12	2			
		前年度比		+165			+140						
					1028 親子65 122 親子3 906 親子62	90	0	0					
					1,158	128	1,030						
					1050 親子52 179 親子1 872 親子51	88	93	20					
					1,154	181	974						
					前年度比	-4	-56						

(春ジュニア758名 親子50組 夏ジュニア1,050名 親子52組 リトル114名)

新規加盟倶楽部紹介



胎内高原ゴルフ倶楽部

1. 倶楽部名 胎内高原ゴルフ倶楽部
住所 〒959-2822
新潟県北蒲原郡黒川村大字夏井1244-1
電話 0254-48-3311
FAX 0254-48-3310
2. 開場年月日 平成10年6月13日
3. 理事長 馬場 肝作 (S23.12.28生)
倶楽部代表者 馬場 肝作、布川 健三
4. 倶楽部分科委員長
競技・ハンディキャップ委員長 野崎 力夫
コース・ハウス委員長 長谷川康之
エチケット広報委員長 谷治 孝一
5. 支配人 藤田 栄三郎 (S17.10.20生)

6. 倶楽部概要

当俱楽部は新潟県の県北に位置し、雄大な自然のもと清流胎内川ラインの流域にスキー場・キャンプ場・リゾートホテル・テニスコート・地ビール園・プール＆温泉と各種レクリエーション施設が完備したリゾートゾーンに誕生した18ホールのメンバーコースです。

アクセスは、関越自動車道・新潟西ICより60分、磐越自動車道・安田ICより60分のところです。

コースは丘陵地ながらもフラットに設計されており、自然をそのまま生かした池や滝なども見られ季節感に富み、訪れるプレーヤーを楽しませてくれます。

フラットなフェアウェイにはアンジュレーションを巧みに配し、どのホールでも戦略性に富み、乗用カートでのプレーはリゾート気分を充分満喫いただけます。

名物ホールは9番ホール (PAR5) でティーグラウンドからは磐梯朝日連峰が眺望でき、緑深い大自然に向かってのダイナミックなティーショットは

豪快さそのものです。

13番ホール (PAR3) は、打ち下ろしで距離のあるショートホール。ティーグラウンドからの眺めが神秘的で右サイドの木陰に横たう池や、グリーン手前のバンカーはプレーヤーの挑戦意欲を否が応でもかき立てます。

クラブハウスは洋風2階建、2階メインホール正面は全面ガラス貼りで、まるで大自然を描いた屏風のようです。

レストランでは旬の味覚と地ビールをゆっくりご堪能頂けます。

車で3分の胎内パークホテルとのゴルフパックはリーズナブルで老若男女シーズンを通じて人気があります。

新緑・紅葉を楽しみながらのプレー、地ビールを飲みながらの歓談等、新しいゴルフの楽しみを与えてくれます。

平成13年には、日本海沿岸自動車道路が開通、新潟市から40分に短縮し利便性も高まります。



西那須野カントリー倶楽部

1. 倶楽部名 西那須野カントリー倶楽部
住所 〒329-2747
栃木県那須郡西那須野町千本松804-2
電話 0287-37-8111
FAX 0287-37-6112

2. 開場年月日 平成5年5月25日

3. 理事長 末松 謙一 (T15.3.2生)

- 倶楽部代表者 末松 謙一、山本 寅男

4. 倶楽部分科委員長

- ハンディキャップ委員長 高崎 正弘
競技委員長 松方 康
フェローシップ委員長 藤井 健
ハウス委員長 山本 寅男

新規加盟倶楽部紹介

5. 支配人 相川 洋祐 (S13.4.29生)

6. 倶楽部概要

西那須野カントリー倶楽部は栃木県の北部、西那須野町にホライカントリー倶楽部の姉妹コースとして平成5年5月にオープンいたしました。

那須連峰の裾野に広がる雄大な地形、また自然を生かした、約54万坪と云う広大なスケールの壯麗で、戦略性に富んだ本格的な欧米風のチャンピオンコースです。

交通は東北自動車道の西那須野ICから約3分とICから至近距離にあります。また東北新幹線の那須塩原駅からはクラブバスで約20分のところにあります。

設計者は世界的なコースデザイナーそして「光と影の魔術師」といわれているロバート・ポン・ヘギー氏、氏は「優れたコースとはすべてのゴルファーに目標を与え、興奮させ、達成の喜びを与えてくれるコースである」と云う哲学を持ち、西那須野カントリー倶楽部も自然の地形を巧みに生かし、アンジュレーション、バンカー、池、そして光が織り成す造形を演出し、それぞれの技量に応じ達成の喜びを与えてくれるコースとなっております。

コースはフラットでフェアウェイにペント芝を使用しています。また距離は7,036ヤード、そして各ホールは大きな池、大小のバンカーがからんでおり、正確なショットが要求されます。グリーンは大きく高低差があり、アウトの9番は5段グリーンとなっています。インの14番ホールは2ウェイとなっており、技量、好みに応じて攻めることができます。

或るゴルフ雑誌が「平成のコースベスト10」と企画を試み、その中で見事No.1に輝きました。

西那須野カントリー倶楽部はホライカントリー倶楽部に隣接しております。ロッジもありますので、一泊二日コースをプレーする特別割引もあり、お得だと思います。

今後は連盟加盟コースとしていっそう充実を図り、会員の皆様並びにご来場の方々に満足のいくよう努力して参りますので皆様のご来場をお待ち

申し上げております。

アカデミアヒルズカントリークラブ(準会員)



1. 倶楽部名 アカデミアヒルズカントリークラブ

- 住所 〒292-1151
千葉県君津市大野台765-2

- 電話 0439-70-5112
FAX 0439-70-5115

2. 開場年月日 平成10年10月1日

3. 理事長 松本 幹生 (S3.4.29生)
倶楽部代表者 萩原 晴久、山門 順一

4. 倶楽部分科委員長
競技委員長 高澤 信晴
コース委員長 小寺 修二
ハンディキャップ委員長 平野 正宜
フェローシップ委員長 米澤 芳晴

5. 支配人

- 総支配人 山門 順一 (S24.11.21生)
支配人 内藤 正幸 (S30.6.23生)

6. 倶楽部概要

当俱楽部は、房総半島中央部の千葉県君津市に位置し、付近にはアカデミアパークやマザー牧場、数多くのオートキャンプ場やロッジもあり、近年注目を集めている地域です。

アクセスは、館山自動車道の木更津北ICより25分、アクアラインを利用すれば都心から1時間でコースに到着します。

コースは青木功プロが設計監修を行い、「優れたコースが優れたゴルファーを育てる」のコンセプトにより、樹木、池、バンカーを巧に配置した運、不運に左右されないフェアなコースレイアウトは、あらゆるレベルのゴルファーに同質の歓びを与えます。

フェアウェイは年中緑鮮やかな洋芝を使用し、

新規加盟倶楽部紹介

各ホールが違った味わいを持つコースデザインは、プレイヤーにゴルフの醍醐味を充分味わわせてくれることと思います。

「ゴルフはスポーツだ」をモットーにしたこれまでの画一的なゴルフスタイルをなくし、乗用カートのセルフによるツーサムやスループレーも可能な新しいゴルフスタイルを取り入れたシンプルな運営とリーズナブルな料金はプレイヤーに好評です。

ご来場を心よりお待ちしております。

猿島カントリー倶楽部(準会員)



1. 倶楽部名 猿島カントリー倶楽部
住 所 〒306-0505
茨城県猿島郡猿島町菅谷2340
電 話 0280-82-1000
F A X 0280-82-1059

2. 開場年月日 平成10年11月3日

3. 理事長 新井 勝己 (S27.8.14生)
俱楽部代表者 新井 勝己、森山 邦雄

4. 倶楽部分科委員長 選任中

5. 支配人 新井 勝己 (S27.8.14生)

6. 倶楽部概要

当俱楽部は、茨城県南西部の猿島台地に広がる高低差2メートルの林を舞台に、自然との調和と精緻な戦略性をコンセプトにした18ホールのコースです。

コースはフラットな地形の中に緑を豊に残したホールが展開し、自然の樹木にセパレートされたフェアウェイには微妙なアンジュレーションがあり要所要所に小高い丘、樹木、ウォーターハザードが設けられております。

なだらかな起伏の中に、ダイナミックな戦略性を秘めたアメリカンスタイルのコースレイアウト

です。

名物ホールは15番ホール (PAR3) で、グリーンは広大なぶん、うねりがあり、ピンに絡まないと寄せるのが難しい通称「人面グリーン」のコースです。

アクセスは常磐自動車道、柏ICを経てコースまで約40分、東北自動車道利用の場合は久喜ICより約40分のところです。

クラブハウスは格調あるカントリーハウスの落ち着きとアメリカンスタイルの気まさ、広びろとしたメインロビー・パティオを囲む明るいレストランとコンペティションルームで旬の味覚をゆっくりとお楽しみ頂けます。

プレジデントカントリー倶楽部(準会員)



1. 倶楽部名 プレジデントカントリー倶楽部
住 所 〒328-0135

栃木県栃木市千塚町561

電 話 0282-31-3111

F A X 0282-31-3115

2. 開場年月日 平成7年5月19日

3. 理事長 西谷 吉博 (S19.2.27生)

俱楽部代表者 西谷 吉博、山岸 昭一

4. 倶楽部分科委員長 選任中

5. 支配人 山岸 昭一 (S22.2.23生)

6. 倶楽部概要

立地：東北自動車道 栃木ICより3km
ジャック・ニクラウス設計。洋芝使用で冬期でも緑豊かな丘陵コース。岩山と池が各ホールの景観を造っている。

理事会・分科委員会

平成11年度
第1回常務理事会議事録

日 時 平成11年7月22日 (木) 正午

場 所 ホテル国際観光 芙蓉の間

出席者 福田理事長

中井、古賀、尾関各副理事長
赤羽、海老原、楠本、小宮山、
小山、斎藤、滝沢、田中、藤
井、吉田、渡邊各常務理事
陪席 神場理事 (加盟申請推
薦理事)

—討議及び決議事項—

福田理事長、議長をつとめ、12時間会
を宣した。

1. 新規加盟申請倶楽部、及び(財)日本ゴルフ協会個人会員入会審査の件

●7月22日現在、加盟申請のあった
次記正会員2倶楽部、及び準会員3
倶楽部につき慎重審議の結果、こ
れを承認した。

正会員

①西那須野カントリー倶楽部(栃木県)

②胎内高原ゴルフ倶楽部(新潟県)

準会員

①アカデミアビルズカントリークラブ(千葉県)

②猿島カントリー倶楽部(茨城県)

③プレジデントカントリー倶楽部(栃木県)

個人会員

7月22日現在、入会申請のあった

大屋清嗣氏他86名の者の入会を承
認し、JGAに届けを提出する事と
した。

2. これからKGAのあり方(組織、
財政、競技等)について

事務局長より、特別委員会「答申書」
のまとめを参照の上、ゴルフ市場解

析参考資料等を基に次記現状解析を
7項目に分類の上、報告がなされた。

①体協問題

②組織拡大問題

③支部組織問題

④財政問題(年会費問題)

⑤主催競技

⑥関東オープン

⑦ハンディキャップ(G-sys)の問題

討議の結果、今後の総務委員会にお
いて継続審議とする事とし、各都県
毎の調整を計りながら、財政、組織
問題に重点をおいた対策を検討する
事とした。

部理事長、支配人宛に要望書のヒナ
型を送付する事を了承した。

5. その他

事務局長より

①5月26日の総務委員会に報告され
た、キャスコ(株)によるKGAロゴ
の使用願いにつき、手袋、ボールに
使用させ、使用料は卸値価格の5%、
使用期間1年間の契約を締結する事
を承認した。

以上をもって全議題審議を終了し、
福田議長14時25分閉会を宣した。

平成11年7月22日

議事録確認署名者

議長 福田 彰 (印)

署名者 小宮山義孝 (印)

小山 貴一 (印)

平成11年度
第3回コース・レート委員会議事録

日 時 平成11年9月30日 (木) 正午

場 所 KGA会議室

出席者 大原委員長

岡田・前川両副委員長
生田、岡田(史)、阪田、佐
久間、内藤、平本、松岡、森、
吉田、和田各委員
渡邊顧問

—討議及び決議事項—

1. 対定数値決定について

笠間東洋ゴルフ倶楽部以下3倶楽部
のコース・レーティングを以下のよ
うに決定した。

●笠間東洋ゴルフ倶楽部

「バック・ティ」「Aグリーン」
72.4
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」

理事会・分科委員会

70.4	11月16日（火）	／戸隠・飯綱コース
「フロント・ティ」「Aグリーン」	カントリークラブザ・ジャパン	エントリー 104名(男子74名、女子30名)
68.9	12月2日（木）	欠席者数 事前連絡4名 (男子3名、女子1名)
「バック・ティ」「Bグリーン」		当日連絡0名
72.3	3. JGAハンディキャップ委員会報告について	無断欠席 1名(男子)
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	大原委員長、渡邊顧問より、9月17日には開催された、JGAハンディキャップ委員会の資料をもとに詳細な説明がなされ、各委員これを確認した。	出場者数 99名(男子70名、女子29名)
70.4		科罰者 0名
「フロント・ティ」「Bグリーン」		ミーティング欠席 0名
68.8		失格者 0名
●長野京急カントリークラブ		棄権者 0名
「バック・ティ」「Aグリーン」		次回プレーオフ
72.6		《男子》日暮俊明、徳永雅洋
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」		《女子》嶋田万里子、岩田淳子
70.5		
「フロント・ティ」「Aグリーン」	日 時 平成11年8月6日(水) 12時30分	
68.3	場 所 KGA会議室	
「バック・ティ」「Bグリーン」	出席者 斎藤委員長	2. 8月月例出場資格者報告の件
71.0		男子599名 (+4) 女子226名 (+2)
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」	山崎副委員長	9月月例出場資格者確認の件
69.2	平山、小池、桜井、額賀、松井各委員	Hdcpc処理未着のため、次回委員会にて報告
「フロント・ティ」「Bグリーン」		
67.0		
●藤代ゴルフ倶楽部	—討議及び決議事項—	3. 9月のテーマ
「バック・ティ」「ペントグリーン」		●プレーの進行に留意し、前の組との間隔をあけないこと
71.7		●ボールマークの修復の徹底
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」		
69.2	1. 8月度競技報告及び総括	
「フロント・ティ」「ペントグリーン」	山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。	
66.4	「関東オープン」の開催を9月に控え、コースコンディションは最高であった。標高1,120メートルということで、8月月例としては大変涼しく、競技の進行は順調であった。女子にとってはややグリーンが難しかったと思われるが、地元の嶋田選手がトップのスコアを記録、また男子も同じく地元の広田選手が3位に入賞するなど、好プレイが見られた。倶楽部側の受け入れ体制も完璧であった。	
2. 査定スケジュールについて	エントリー数は以下のとおり	
佐野ゴルフクラブ以下5倶楽部の査定日について、以下のように決定した。	開催日 平成11年8月2日(月)	1. 9月度競技報告及び総括
●佐野ゴルフクラブ	コース 長野カントリークラブ	山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。
10月21日（木）		
●鳥山城カントリークラブ		
10月27日（水）		
●胎内高原ゴルフ倶楽部		
11月9日（火）		
●埼玉国際ゴルフ倶楽部		

理事会・分科委員会

括がなされた。	エントリー 180名(男子127名、女子53名)	2. 9月月例出場資格者報告の件
「台風の上陸で天候が心配されたが、風は時々強く吹く程度、雨も降らず、競技は順調に進行していった。高麗グリーンであったが、男子は79ストローク以下が次回より出場停止、女子も70台のスコアが14名と非常にレベルの高い月例競技であった。	欠席者数 事前連絡10名 (男子7名、女子3名)	男子604名 (+5) 女子228名 (+2)
エントリー数他は以下のとおり	当日連絡 0名	10月月例出場資格者確認の件
開催日 平成11年9月24日(金)	無断欠席 0名	Hdcpc処理未着のため、次回委員会にて報告
コース 江戸崎カントリー倶楽部	出場者数 170名(男子120名、女子50名)	
	科罰者 0名	3. 10月のテーマ
	ミーティング欠席 0名	次回開催倶楽部は大洗ゴルフ倶楽部であるが、初開催ということもあり、倶楽部側に注意事項を確認した上で、後日決定することとした。
	失格者 1名(女子)	
	棄権者 0名	
	次回プレーオフ	
	《男子》加藤一彦、西本 聖	
	《女子》嶋田万里子、岩田淳子	

月例競技成績表

【平成11年度8月月例】8月2日(月) 長野カントリークラブ／戸隠・飯綱コース

男子	順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
	1	徳永 雅洋	ザ・レイクス	37	35	72
	1	日暮 俊明	扶桑	37	35	72
	3	金 浩延	塙原	33	41	74
	3	中野 正義	霞ヶ浦出島	38	36	74
	3	石井 保行	清川	37	37	74
	3	広田 文雄	長野	38	36	74

コース・レート72.0

※男子1位タイの徳永、日暮の両氏は、次回月例にてプレーオフを行ない、優勝者を決定する。

女子	順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
	1	嶋田万里子	長野	42	38	80
	1	岩田 淳子	横浜	39	41	80
	3	五十嵐洋子	藤岡	39	42	81
	3	大木 美佳	光エスプリックス	41	40	81
	3	村田トシ子	鎌ヶ谷	39	42	81
	3	菅原圭矢子	京	39	42	81

コース・レート69.6

※女子1位タイの鶴田、岩田の両氏は、次回月例にてプレーオフを行ない、優勝者を決定する。

【平成11年度9月月例】9月24日(金) 江戸崎カントリー倶楽部／東コース

男子	順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
	1	加藤 一彦	千葉	36	33	69
	1	西本 聖	鳳嶺	33	36	69
	3	鶴井 隆	唐沢	35	35	70
	4	金 浩延	塙原	34	37	71
	4	高安 信行	セントラル	35	36	71
	4	日暮 俊明	扶桑	34	37	71
	4	笠川喜久男	瀛之台	37	34	71
	4	平山 尚記	立川国際	36	35	71
	4	沢田 信弘	東京五日市	37	34	71
	4	鶴崎 正一	泰野	38	33	71
	4	齊藤 清裕	東名	39	32	71

コース・レート72.8

※男子1位タイの加藤、西本の両氏は、次回月例にてプレーオフを行ない、優勝者を決定する。

※8月度のプレーオフは、日暮俊明選手の優勝に決定しました。

女子	順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
	1	間根奈穂美	セントラル	37	36	73
	2	大木 美佳	光エスプリックス	37	37	74
	3	鶴田万里子	長野	38	37	75
	3	南雲 真里	岡部チサン	37	38	75
	3	矢島智裕子	富士	37	38	75
	3	三木恵美子	富士	37	38	75

コース・レート70.1

※8月度のプレーオフは、鶴田万里子選手の優勝に決定しました。

お知らせ

関東オープンゴルフ選手権競技 50年史

半世紀にわたる「関東オープンゴルフ選手権競技」は、今年度をもって惜しまれつつ幕を閉じました。その栄光の記録を「50年史」としてまとめたものです。数々の名勝負、想い出が蘇ることでしょう。ご高覧下さい。



関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。

- 理事長
●長野国際カントリークラブ
(新) 服部 真司 (旧) 古木 健之
●穂高カントリークラブ
(新) 村田 一 (旧) 井上 六郎
●河口湖カントリークラブ
(新) 柴田 隆三 (旧) 石坂 泰彦
●広陵カントリークラブ
(新) 代田 伸三 (旧) 山田 照夫
●久慈川カントリークラブ
(新) 横山 泉 (旧) 長谷雄二郎
●高麗川カントリークラブ
(新) 吉野 重彦 (旧) 伊地知重威
●鳩山カントリークラブ
(新) 長谷川正治 (旧) 横山 修二
- 倶楽部代表者
●長野国際カントリークラブ
(新) 服部 真司 (旧) 古木 健之
●穂高カントリークラブ
(新) 村田 一 (旧) 井上 六郎
●河口湖カントリークラブ
(新) 柴田 隆三 (旧) 石坂 泰彦
●広陵カントリークラブ
(旧) 山田 照夫
●久慈川カントリークラブ
(新) 横山 泉 (旧) 長谷雄二郎
●湯河原カントリー倶楽部
(新) 玉真 俊一 (旧) 小泉 直
●御殿場ゴルフ倶楽部
[訂正] 代表者2名
安 欣治、小池 隆
●高麗川カントリークラブ
(新) 吉野 重彦 (旧) 伊地知重威
(新) 近藤 功 (旧) 神尾 昌一
●鳩山カントリークラブ
(旧) 横山 修二
●佐倉カントリー倶楽部
(新) 鈴木 操 (旧) 菊池 清一
支配人
●思い川東急ゴルフ倶楽部
(新) 矢作喜久夫 (旧) 西野 俊雄
- 所在地
●茨城県アマチュアゴルフ連盟
(新) 〒310-0805
茨城県水戸市中央2-8-37 茨城味噌会館3F
TEL 029-231-5696 FAX 029-231-8888
- 東京事務所
●日高カントリークラブ
(新) 〒141-0032
品川区大崎1-6-1 大崎ニューシティ1号館
TOC大崎ビル10F
TEL 03-5759-2571 FAX 03-3494-8101
- 東千葉カントリー倶楽部
(新) 住所は同上
TEL 03-5437-1430 FAX 03-5437-1432
- 大相模カントリークラブ
(新) 住所は同上
TEL 03-5759-2574 FAX 03-5759-1520
- HDCP
●富士レイクサイドカントリー倶楽部
G-sys→●
●小幡郷ゴルフ倶楽部
●→G-sys
●ツインレイクスカントリー倶楽部
●→G-sys
●ノーザンカントリークラブ 赤城ゴルフ場
●→G-sys
●ノーザンカントリークラブ 上毛ゴルフ場
●→G-sys
●レインボーゴルフ倶楽部 富岡コース
●→G-sys
●花生カントリークラブ
空欄→●
●志野カントリークラブ
●→G-sys
●花生カントリークラブ
空欄→G-sys
●浜野ゴルフクラブ
●→G-sys
●大相模カントリークラブ
入→G-sys
●天城にっかつゴルフ倶楽部
入→G-sys
●伊豆国際カントリークラブ
●→G-sys
●緑野カントリークラブ
入→G-sys

平成11年10月1日発行 KGA ニュース No.68
発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391
発行人／福田 彰 編集／広報委員会